



会報

浪越徳治郎先生御生誕百周年記念

同窓会名簿作成に向けて

同窓会会長 青木 宏



浪越徳治郎先生生誕百年を記念して、同窓会名簿を二〇〇五年五月に発刊することになりました。昨二〇〇三年十月三十日、役員会と、運営委員会を開催してその旨決定したのです。

十一月七日、株式会社旭出版と同窓会名簿作成の契約を交わしました。旭出版は名簿作成を専門に手掛ける会社で、実績があり、誠実に信頼するに足る会社です。

同窓会側としては、沖原副幹事長をはじめ、神田、金子両名簿委員が、旭出版とタイプアップして、すでに活動を始めています。

同窓会会員の皆さんには、昨年、会報二十四号を発刊した際、住所不明会員の名前を、二頁に亘って掲載したところ、多くの方から連絡をいただき、感謝しております。

皆さん一人ひとりの協力なしには、名簿の発刊はおぼつきません。広告掲載の面でも、一冊二千元でお求めいただく面でも、いろいろ協力していただくよう、宜しくお願いいたします。

次のような質問が寄せられました。

同窓会会員名簿の台帳の備考欄に、
受取拒否
会報不要
退会希望

「退会希望」の理由を知りたい。そうすれば、改善の手がかりが得られ、よりよいものを創造していくことにつながるのではないのでしょうか。

学校長に就任して

日本指圧専門学校校長 石塚 寛



私は平成十五年十月二十九日付をもちまして、学校長に就任いたしました。

私は昭和三十八年から五十二年まで、即ち六期から二十一期までの十五年間、非常勤講師として本校で解剖学の講義を担当しておりました。その間、本校創始者浪越徳治郎先生の警咳に常日頃接することができた事を誇りに思っております。

浪越徳治郎先生の創学の理念は、此処小石川の地に沢山の指圧を学ぶ同志を募るといふことと、母心の精神をもって国の内外に指圧を広めることにあります。私はこの先生の理念に基づいて、これを更に発展させることを使命と感じ、この

ことに専念したいと思っております。その為には良い指導者による教育を縦系にそして又学生同士の連携を横系にして日本指圧専門学校という丈夫な美しい布を皆で紡いで参りたいと念願しています。

浪越徳治郎先生は、「指圧は芸術である」といつもおっしゃっておられました。先生の指圧の指使いは正に芸術であると思います。このお言葉を大切に、この域に少しでも近づけるように、生徒を育成する学校環境を整えていきたいと思っております。

私はまた「指圧は科学である」との言葉をこれに付け加えたいと思っています。

今学校では指圧の効果の解明に取り組んでおります。指圧を受けることにより、我々の生体の中で起こり得る色々な情報を科学的に解明し、その結果を外に向けてアピールして行くことは、非常に大切なことだと認識しています。

同窓会の皆様、どうぞ学校に足をお運び下さいまして、現在の学校をつぶさに見て頂き、また皆様から色々な情報を御提供頂けたら幸いです。

学校のすぐ近くの伝通院には、指聖供養塔の完成した指塚もございますし、徳治郎先生、徹先生がお眠りしていらっしゃるお墓もございますことですから、是非お暇をおつくりになられて、学校や伝通院へもおいで頂きたいと思っております。

学校は同窓会の皆様のものであります。今後とも御支援の程お願い申し上げます。末筆ながら皆様の御健勝をお祈りして筆をおかせて頂きます。

日本指圧専門学校同窓会

平成十五年通常総会

日本指圧専門学校の平成十五年通常総会が平成十五年六月八日(日)椿山荘において開催された。定刻十時、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催された。

満都子名誉会長からご祝辞をいただいた。続いて、議長団の選出。議事に入った。平成十四年度事業報告 同決算報告 同監査報告 平成十五年度事業計画案 同予算案が全員の拍手により賛同承認された。

その後、特別養護老人ホーム「くすのきの郷」施設長、柏木洋子先生により、「痴呆出現時の状況」と題する講演が行われた。(講演抄録後載)。その後の懇親会では、在学生も先輩と談笑し合つたなど、親交を深め和やかなひと時を過ごした。



青木会長のあいさつ



同期の語らいが弾む

記念講演抄録

平成15年6月8日に開催された日本指圧専門学校同窓会総会において、文京区立特別養護老人ホーム「くすのきの郷」の施設長をされている柏木洋子先生に「痴呆症の出現時の状況」と題して記念講演をしていただきました。

(柏木) 皆様初めまして。私は浪越満都子先生と10年来、親しくつき合わせていただいています。皆さまの指圧業界のことを良く知らないため、内容的に失礼なことがあります。ご容赦ください。

私は社会福祉士及びケアマネージャーとして、痴呆症、高齢者、65歳以上の障害が出てきた方々のケースワークを専門としております。ですから私の施設にいる100人のお年寄りとは8名のショートステイ利用者、それから通所して来られる120名の方々のケース台帳を全部読むことになりません。そしてそれらに、スーパービジョンを加えることが私の主な仕事となります。

簡単に言えば、ソーシャルワークのスーパーバイザーということになるかと思いますが、その見地でお話を聞いてくださればうれしいと思います。

皆さんの中には、私よりもはるかに医学知識がおりの方がおられると思いますが、医学の知識があるということはまた別ものです。私は介護面から見て、痴呆症のことを、指圧をする皆さんにもっと知っていただきたいと思っています。痴呆症が病気であると認識している方が以外と少ないからです。今日は「痴呆症の症状が出現する時」ということを、話させていただきます。

「ほけてきちゃったよ。このころ。」と、ある程度の年齢になった多くの方が言います。実際、物忘れとこの場合は、健康な高齢化の始まりと言われています。例えば、直近のお食事について、何を食べたかを忘れてしまうのは正常です。

「さあ、今日は何を食べたかな」というのをすぐには思い出せません。それは、ごく普通です。

しかし痴呆症の人たちは「体験そのもの」を忘れてしまうのです。今食事から帰ってきたのに「私はお食事をしていない」。体験そのものが欠落している時は、病気がなると疑ってください。体験それ自体を忘れてしまうような状態の時には、ぜひ「おやつ」と思っていたきたいのです。

2003年の統計によりますと、痴呆症の人が160万人。私が若い時には痴呆症の人の出現率は、5%程度と言われていました。現場の私たちは、5%以上いると思っていたのですが、最近の痴呆症の出現率は、物忘れ外来に来る人の約50%と10倍に増え、高齢化が進んでいると言われています。そして痴呆症であると診断された人だけで160万人。高齢者世帯の中でいうと、7世帯に1人。その痴呆症と認定された人たちは、

脳血管性障害とアルツハイマー型とに分けられます。アルツハイマー型が約60%もいると言われています。さらに「うちの家の父はこうではなかった」「うちの妻はこうではなかった」と、家族が異変を感じた人がいても、そのうち病院や診療所に相談している人は、現在わずかに13%。87%はほっといていてという結果が出ています。これでは痴呆症に対する認識は広がりません。家族は痴呆症ではないと思いたいので、でも、痴呆症が病気であると認識すれば恥ずかしいことではなくて、やはり早く診断を確定してもらいたいことが大事だと思います。

指圧をする時にも、87%は普通の人に紛れ込んでいるということを知っておくと、何かの参考になるのではないかと思います。

わかりづらい

痴呆の発現時期

前述のように痴呆症の発現の時期は非常に区別がつけにくいものです。物を今までと違った場所に置く、それを忘れてしまいます。それで「自分がしまったはずのところがない、盗られ

た」という「物盗られ妄想」が顕著に最初に出てきます。この「物とられ妄想」が深刻になると、家庭崩壊にもつながりかねません。特に家族の重要な柱である方が、お金をたくさん持っている場合、大切なものを持っている場合、権力を持っている場合、地位がある場合が大変です。なぜなら、家の登記簿謄本、通帳、実印、カードなどの管理に関係するからです。私たちから見ると、「ああやってる間に本当にわからなくなってしまうんだよね」「あんなに人生かけて大事に守ってきたものを、こっやってる間に何が何



講演中の柏木洋子先生

うしてこういうことを言うのだから。今この人にこう言ったのに全然違うことを言うのよ。」と。しかし本人は全然、作話しているつもりではなく、本人は正しいと思っているのです。私たちは物事を全体観の中で判断します。しかし、この人たちは覚えているところだけで物事をつなぎますから、作話傾向というのが出てきてしまいます。

このような方たちを相手に、ケアマネージャーが介護保険の枠組みの中で活躍しています。介護保険制度の下では、介護度によって使用できる金額が定められており、ケアマネージャーに対しては、保険制度が支払うため、自己負担はありません。それだけに適正に使用されているかどうか厳しいチェック体制が入る制度となっております。ケアマネージャーは必須の資格です。医者でもケアマネージャーでなかったら、介護保険を請求できません。介護保険法の導入によって、にわかに設置された役割りですのに、急拠余りにも大きな責任を荷うことになってしまい、混乱し、手探り状態にあります。3年以上が経過して今、国はケアマ

ネージャーの質に問題があるとして、質の追求が始まりました。介護保険制度は非常に複雑な制度となっております。その為にケアマネージャーとかりつけ医を平素から探しておかないと、いざという時に間に合いませんので近所にある指定居宅支援事業所などに飛び込んでみてください。

在宅介護支援センターの役割

一方で在宅介護支援センターは保険ではなく税金で賄われています。介護保険に認定されなくても使えます。ケアマネージャーというのは介護保険で非該当となったら使えないのです。でも、在宅介護支援センターにいる相談員は、たまたま介護保険には認定されなかった人、要支援などに該当しないという人たちでも誰でも使えます。困ったら税金でやっている在宅介護支援センターに行ってみてください。

ヘルパーの活用の仕方

在宅にて、ヘルパーがいる間は、家族の方は一生懸命やらないで休憩して下さい。痴呆症の方を持つたら

一生懸命やりすぎない、怒らない、焦らない、イライラしない。介護する人は手を抜き自分が病気になるってしまわないようにする。そして、「長丁場の覚悟」が必要で、同時に一人で悩まず自分以外の家族を巻き込んでください。まず、初期の症状として、家族が気づくのは、同じことを言ったり聞いたりする、物の名前が出てこなくなる、置き忘れやしまい忘れが目立つ。それから、以前あった関心や興味が失われる。身だしなみがだらしくなる。時間や場所の感覚がわからなくなる。計算の間違いが多くなる。財布等が盗まれたなど物を盗られ妄想も顕著にあらわれます。それから些細なことで怒りっぽくなる。蛇口やガス栓の閉め忘れ、電気をパチパチとやる。慣れているはずの道を間違え、複雑な言葉がわからなくなる。それらに注意してください。今日は難しいこととは言いませんでした。本

当に初期症状でこういうところから関わってくださいということだけしかお話をきませんでした。皆さんの参考になればと思います。本日は、ご拝聴ありがとうございました。(拍手)

あん摩マッサージ指圧師の現況と展望

特定非営利活動法人日本指圧協会

副理事長 佐藤 一 美

十年前迄は、あん摩マッサージ指圧の受療年代層は、四十歳から七十歳の年代が圧倒的で、二十歳から三十歳は皆無に等しい状況でした。店舗で開業しても訪れる方はまれで、維持し軌道にのせるのに五年から七年以上かかるのが当たり前の特定の年代・特定の市場という隙間産業でした。

しかし、バブルが崩壊し各企業の収益が悪化の一途をたどり、それに伴うリス

幅させ、蓄積されたストレスから精神的にも肉体的にも開放され、リラクセスしたいという現代人の要求は日増しに高まり、「癒し」というブームを作りだしました。健康ではないけど病人でもないという、健康と病気の狭間のグレーゾーンにあたる人たちが、あん摩マッサージ指圧の施術を積極的に受療するようになり、メジャー産業に変貌しつつあります。

このような時代、あん摩マッサージ指圧は二十代から七十代の幅広い年齢層に利用され、なかでも二十代から三十代の利用率は六〇%を占めるまでになりました。企業のOA化やインターネットの浸透化とともに今後受療者の増加が見込まれ、健康と病気の狭間のグレーゾーンにあたる人たちが手軽に疲労回復や不定愁訴の改善を図れる手段として、また医療費削減方法の一つとして、あん摩マ

自衛隊イラク復興支援派遣問題で漠然とした政治への不安など、現代はまさにストレス社会です。景気の低迷や構造改革にともなつて現代人は、漠然とした健康への不安や日常的疲労からくる、慢性的な倦怠感を持つています。さらに、家族や周辺の人たちとの人間関係の煩雑さや将来の不透明感など、これらの不安は、肉体的な疲れをより一層増

厚生労働省発表の人口動態統計によれば、合計特殊出生率は九九年の過去最低の一・三四、〇二年では一・三九と低い水準で移行し、併せて国民医療費は過去最高の約三十一兆円(〇二年)となり、社会保険料の負担はさらなる高まりが予想されます。そうした中、国や大企業などでは、負担軽減の手段として、予防医学分野への規制緩和や参入を徐々に始めつつあります。又、個人の健康管理に

対する意識は年々高まり、マスメディア等でも自己管理に関する内容が頻繁に取り上げられています。又、高齢化社会に向けて介護保険の導入を図り、高齢者の介護という新しい分野を促進させています。

第3回浪越徳治郎杯争奪芸能大会



来賓の先生方と大会参加者

4期石原博司先生はカラオケ「細雪」。歌詞を一度も見ることなく、歌いこなした様子が見事。次は10期高野正之先生のカラオケ「山」。急な出場の依頼にもかかわらず、昨日と同じ今日はな

平成16年2月11日(水) 10時30分過ぎから、茗溪会館において第3回浪越徳治郎杯争奪芸能大会が開催されました。

青木宏同窓会会長挨拶、浪越和民理事長、石塚寛校長から祝辞をいただき大会が開会されました。

8期鈴木三先生の詩吟「指圧道入門」から演目が始まった。丹田からうねり出される先生の声に、学校時代の実技の授業風景が頭に

をよぎったのは、記者だけであつたらうか。

二番手は44期大場裕之先生によるマジックショー。次から次と「オツ」という歓声。合間に何匹もの小動物が出てくる。最後に手品のネタの卵が実は本物だったとは!!

続いて14期萩原忠雄先生のカラオケ「幸せの青い鳥」。お前は俺の幸せの青い鳥……と切々と歌い上げた。



優勝者 岩城俊生先生

い、それが親父の口ぐせ……と頼れる大先輩でした。ここで昼食。

午後の部の初めに、稲場哲夫指圧協会理事長の挨拶をいただいた。芸能大会での話にふさわしく、もしもしカメよカメさんよのメロディに合わせた手指の自己指圧を披露された。

昼食時の若干のアルコールで、和やかな雰囲気が出なうな、午後一番はカラオケ「恩返し」を27期内城勇造先生が歌い上げた。やさしい人柄のあふれる声に大きな拍手が。

続いて37期岡田主先生のカラオケ「憧れのハワイ航

路」。武道合わせて22段で合気道道場長の82歳の先生に温かい拍手が響いた。

44期岩城俊生先生の「さくら」が始まると、会場は水を打ったような静けさに包まれた。高い音域を澄んだ声で丁寧に歌う先生に大拍手。

5期船田弘子先生は、ご主人の闘病生活を訥々と語り、前日に快気の祝いをしたとのこと。浪越先生への感謝の心が歌声に。会場の全員が船田先生と一緒に「見上げてごらん夜の星を」を口ずさんだ。

34期塩野泰利先生は絶妙な前振りから桑田佳祐の「YAYA」あのときを忘れない」を。幹事長としてこの舞台上立つことができなかつた無念をここに、楽しいコメントを交えて塩野節が続いた。

エントリーの最後は24期高野昇司先生の「ソウルソウルソウル」。昭和40年代後半、新聞記者として赴任したソウルの想い出を込めて、幾分若やいだ表情の先生が切々と歌い切っていた。

おおとりは特別出演の8期赤沢エイ先生の詩吟「唐の杜牧(とぼく)の「山行」。芸能大会は三回とも

出席されており、毎回楽しみにしていますとの言葉は、実行委員のみんなの胸に響いた。

今回から参加者全員の投票による審査方式となり、皆のテーブルでは鉛筆が揺れた。飛び入り歓迎のフリータイムの間に集計が行われた。

第3回浪越徳治郎杯争奪芸能大会の審査結果は次の通り。

優勝44期 岩城俊生先生
カラオケ「さくら」

準優勝24期 高野昇司先生
カラオケ「ソウルソウルソウル」

同 34期 塩野泰利先生
カラオケ「YAYA」

「あのときを忘れない」

会長賞4期 石原博司先生
カラオケ「細雪」

理事長賞37期 岡田主先生
カラオケ「憧れのハワイ航路」

熱演賞44期 大場裕之先生
手品、大場裕之のマジックショー」

最終、和やかな雰囲気の中、会員の親睦が大きく図れた大会となった。次回の第4回大会は、平成17年2月11日、茗溪会館を予定しています。第1回から来



準優勝 塩野泰利先生

年第4回までの優勝者、準優勝者(2名)総員12組で、平成18年には浪越徳治郎先生生誕百周年記念グラウンドチャンピオン大会が行われます。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

紙面を通して日本指圧協会の先生方に感謝を申し上げます。折に触れて当大会への参加を呼びかけてくださり、大変ありがとうございました。



準優勝 高野昇司先生

第3回ハワイ大学解剖学研修旅行

黒沢純一 四十期

ハワイ解剖研修に参加して

小川正恵 3年B組

故相澤君江先生を偲ぶ

根岸とき枝 四期

今年で第3回目をむかえた「ハワイ大学解剖研修旅行」が、さる3月18日(木)～24日(水)の7日間にわたっておこなわれました。今年には参加生徒41名、教職員9名、計50名という大所帯でしたが、集合場所の成田空港には一人の遅刻者も

なく、今回の研修旅行の成功を期待させる幕開けとなりました。

このハワイ大学解剖実習は、「より解剖学の知識を深める」というスローガンをかかげ、本校の卒業生、因泥文彦先生(本校15期卒業・ハワイ在住)の多大なる御協力の下、毎年3月に行われています。前年までの参加学生が一生懸命に学習したことが評価されて、ハワイ大学医学部の教授陣の指導も熱心になり、年を追うごとに授業レベルの向上がみられます。丸々2日間の解剖実習の後の満足そうな学生の顔を見ると、今年の研修も成功をおさめることができたと実感できます。これから5年、10年と続いていくように願っています。



去る三月十八日、機中で夜を迎え、晴天のホノルル空港に無事到着。黒沢先生の「限られた時間です。精一杯学び、精一杯遊んで下さい。」という言葉とともに(この言葉の重さを、最終日に実感することとなりました)研修旅行は始まりました。三日目以降は全て雨。という生憎の天気でしたが、空気は暖かく、緑あふれるハワイ大学の環境に心身ともに癒され、最後まで充実した日々を過ごすことが出来ました。

今回のメインでもある解剖実習は、昨年の座学・観察中心のものから一歩進んで、学生自らが解剖を進めながら各部位や病変について説明して頂くという、日本では考えられない内容であり、開始直後から緊張感が漂うものとなりました。ご遺体の体を感じながら解剖することにより、単に人体の構造を知ること以外に、実に沢山の事を真剣に考えさせられました。

た。他人の体を触るということ、体内に病変を抱えることの心身の苦しみ……。途中、何度が感傷的な気持ちになり集中力が途切れそうになりましたが、周りの校友や先生方の没頭する姿が励みになった事は言うまでもありません。このような素晴らしい機会を与えてくださった全ての方々に感謝いたします。

また、ボランティア指圧愛泉指圧学校でのパーティ、自由時間などに年齢や立場を越えて様々な事を語り合うことができ、先生方や校友との絆が深まったことも大きな収穫であり、楽しい思い出を沢山作ることができました。この、ハワイでの貴重な経験を今後に生かし、残り一年の学校生活を悔い無きよう過ごしたいと思います。

母心 あふれる君の
ああ惜しみても 惜しみてもなほ
しのぶ会

平成十五年十一月二十三日、山手線大塚駅近くの、故人にも馴染み深い「すし栄」に三十一名が参集し、ひふみ会と五禽の会合同で「故相澤君江先生を偲ぶ会」を行いました。

ひふみ会副会長青木雅美先生の司会で、浪越学園理事長浪越和民先生、日本指圧協会理事長稲場哲夫先生よりご挨拶をいただきました。ひふみ会副会長長石原博司先生の献杯で食事に。ひふみ会会長増田清一先生の故人への想い出は限りなく四十五年以上の友情でいっぱいのお話でした。また五禽の会の赤澤先生より故人の回想も。

ひふみ会、五禽の会の姉であり、ある時は母の如く泣き笑い、そして心深く皆を包む、温かく優しい人柄の相澤先生。今後のひふみ会と五禽の会を天国より見守ってくださいます。先生ありがとうございました。心から永遠に冥福をお祈り申し上げます。

お集まりいただいた皆様、に厚く御礼申し上げます。

編集部からの
御連絡とお詫び

今年のキ口口研修は、定員割れのため、やむなく中止となりました。また、当編集部に対し、根岸とき枝先生、大塚俊幸先生、山手義彦先生から原稿が寄せられました。紙面の都合により、会報25号に掲載することができませんでした。大変、申し訳ありませんでした。併せて御連絡とお詫びを申し上げます。

ハワイ解剖学研修を振り返って

宮下 雅俊 三年A組

こんなにハードなスケジュールになるなんて自分でも思っていませんでした。二月二十九日の国家試験を終えて、三月三、四、五日キロロリゾートへの最後の学校行事の卒業旅行で氷点下十七度の極寒の北海道を満喫し、三月七日は帝国ホテルにて朝日新聞奨学生卒業記念パーティ、三月九日交際をはじめからちょうど五年になる婚約者の真由美とシビックセンターにて卒業式の二時間前に入籍を済ませてすぐ第四十五期生卒業式に二人で出席し、翌日三月十日から三月十六日までの一週間で新聞配達の引継ぎ業務を終わらせて、

三月十七日ハワイ解剖研修の前日にそれまで三年間お世話になったASA小石川の社員寮から二人の新しい出発地となる東村山市へ友人とその彼女の協力を得て引越に着手。思ったよりも時間がかかり真夜中も車を走らせ引越が完了したのは明けて三月十八日の昼近くでした。急いで用意してあったスーツケースを引きずりながら成田国際空港に向かいました。

最近ハワイでは雨の日が多く少し肌寒い天気が続いていてたそうですが、強い日差しと暑い南国のさわやかな風の中、ハワイ愛泉指圧学校校長の因泥文彦先生と治療院のスタッフの中田先生、それに愛泉指圧で勉強中だった四十四期卒業生の岩井先輩に出迎えられ無事に再会を喜び合いました。まずハワイに着いた初日は愛媛丸の追悼墓地にみんなで行き亡くなった方への冥福を祈りました。こんな素敵な場所ですごくだけ広い海であれだけ悲惨な事故が起るなんてとても信じられない気持ちでいっぱいでした。

ワイキキプリンスホテルでのウェルカムパーティーの後、夜はクラスメイトと先生がた数人とワイキキに繰り出しハワイ初日の夜を祝うことができました。二日目の自由行動。次の日からの解剖に備え早めには就寝しました。いよいよ今回のメインである解剖実習が始まりました。ハワイ大学教授のラザロフ教授のレクチャーが無くいきなり実習に突入。もつともみんなを驚かせたのはそこにあつたのは一度もメスが入っていない完全な状態の献体が四体並べてあり、一から解剖を自分たちの手で行うということでした。

なれないメスさばきでおそろおそろ始まりましたが、そこは日本指圧専門学校が生徒。日ごろ石塚校長のサルの解剖で学んだことをフルに活用してどんどん解剖が進んでいきました。ただ学校では二百四十人に二体の献体でしたが、ここでは十人に二体の献体を与えられスピードが追いつきませんでした。ところがここはハワイ大学、細かいことにはこだわらず見たいところがあればつさばつさと切り開いていき、普段教科書では見ることができないようなところ、イメージでしかなかったところを、じっくり見てそして触れて、人体の巧妙な作りをただただ驚嘆するばかりでした。研修も終盤に差し掛かると、

各自自分が普段基本指圧で圧している体表のその下の構造がどうなっているのか、また治療で圧すにはどの角度でどれくらいの深さなのかなどのポイントを、生きている人では見れないものを解剖と治療という観点から勉強できたことは、ハワイ解剖学研修でなくてはできないことでした。今回はきかないことでした。今回私自身が学んできたことを口で説明するよりも、皆さんが実際にハワイ解剖学研修に参加して本物を見て、触れて学んでください。確かにお金もかかります、仕事の事情もあるでしょう。ただそれ以上の事を持ち帰り自分の財産にするのは自分自身にかかっていると思います。私も十年後、二十年後と治療家として歩んでいく時、この貴重な経験を無駄にしないよう日々努力して行きたいと思えます。最後にハワイ大学のラザロフ教授、サラ先生、通訳のポールさんありがとうございました。また因泥先生、イレインさん夫妻には、私たち学生が勉強に専念できるように細かな心配りをしていたいただき、本当にありがとうございました。

特別寄稿

「基本指圧についての私見」

同窓会副会長 鈴木 林 三

基本指圧の他に臨床指圧がある。あるいは応用指圧、応病指圧があると考えてい

る人が多い。そうなる、基本指圧だけではダメだという考えになつてくる。何

故そんなに短絡的に考えるのか。そもそも基本指圧とは、浪越徳治郎先生がその

臨床の中で特に大切な処を残し、簡略化、そして集大成したものと解する。したがって基本指圧即臨床指圧となり得る。

だが、その為には条件がある。指が出来て、後は押し方ひとつである。その押し方に初級から上級までありと解するとわかりやすい。

基本は替える必要がない。押し方を初級から上級へと替えていけばよい。歴史的には、基本指圧の術式は、日本指圧専門学校の前身、日本指圧学院（昭和15・2・11創立）よりも早く、昭和9年に「指圧療法と生理学」により発表されている。しかし、その押し方については、浪越徳治郎先生から直に学ばれた多くのの人に、それぞれ違う受け取り方があるのも事実として否定できない。しかし、それを二つに大別してみたい。

第四十五期卒業式



日本指圧専門学校平成15年度第44期卒業式が、3月9日(火)午前10時から執り行われた。大塚俊幸先生の司会で、林教務部長の開式の辞。君が代斉唱の後、卒業証書の授与に移る。昼間部、黒沢純一先生、夜間部、大塚俊幸先生の各担任の呼名により卒業生一人一人が壇上に上り、石塚寛校長により卒業証書と専門士の称号が授与された。続いて、賞状の授与に移り、先ず3年間、雨の日も風の日も1日も休むことなく皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。引き続き精勤賞、功労賞(学級委員)、成績

優秀者、さらに指圧効果の科学的証明に努力し東洋療法学校協会主催の学術大会で学術発表を行った指圧研究会、また課外における活動の評価として野球部も表彰を受けた。最後に東洋療法学校協会賞がA組の渡邊和雄さんに手渡された。

石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の祝辞に続いて、来賓の祝辞を元文部大臣鳩山邦夫先生(鳩山太郎氏代読)、稲葉哲夫日本指圧協会理事長、青木宏同窓会長よりそれぞれ頂戴した。次に祝電披露、来賓紹介の後在校生代表、古谷亮氏の送辞、在校生代表、衛藤友親氏の答辞、田中薫さんから卒業記念品目録の贈呈(パーソナルコンピュータ)があり、神田浩士先生指揮で「仰げば尊し」「指圧賛歌」を合唱し、林正義先生の閉会の辞をもって卒業式を終了した。12時より会場を移し卒業謝恩パーティーが開催された。C組長谷川貴子さんの司会により45期校友会長、衛藤友親氏のあいさつ、石塚寛校長、浪越和民理事長のあ

いさつに続き、田村鉦二先生の乾杯の音頭で祝宴に入る。歓談の後、3年間の思い出が大きなスクリーンに上映され歓声があがる。

石塚寛校長、浪越和民理事長に卒業生を代表して米良綾香さん、久我真奈美さんより、花束贈呈。植松太郎氏より閉会の辞、最後に全員で「蛍の光」を合唱して14時卒業謝恩パーティーを終了した。

賞状授与

※個人情報保護の観点から、ホームページ上では掲載しておりません。

- *****
- 卒業生代表からのひと言メッセージ**
- *****
- 3A 安部勝彦** 卒業して振り返ってみるとあつという間の三年間で自分自身は気の合う仲間とやさしい先生方に恵まれ充実した学生生活を送れたと思っております。遊びと勉強をバランスよく行い楽しい学校生活を送ってください。
 - 3A 西川輝彦** 国試はまだまだ先、と思っ
 - 3A 湯浅貴子** 熱血な担任を始め、家族のように思えた同級生、下級生の皆さん、事務の新井さん、辻村先生...お世話になった方々は数知れず(涙)専任の若い先生方の工夫を凝らした授業と、それ以上に(生徒より?)元気の校長先生のパワーに押され、卒業する事が出来ました!自分と周りの人への水やりを忘れずに、一歩×2前進します。ここに關わる皆さんが、途切れる事なく繋がってゆける事を願います。
 - 3A 吉光寺純子** 先日卒業式を終え、振り返りますと三年間の色々な出来事が思い出されます。一生付きあつてゆける友人ができて、素晴らしい先生との出会いがあり、この三年間は私の中で宝物になりました。これから浪越の卒業生として、頑張つてまいります。
 - 3B 渡辺富夫** 作れば、学生同士のコミュニケーションにつながると思う。三年間、何も分らないで入学した私には学校の先生方クラスメイトが教えてくれた実技や治療についての考え方は一生の宝です。
 - 3B 小関昌男** 卒業後、よく耳にする言葉は、「学校を出たからって社会では、通用しない。」ならば、在学中に、ある程度の知識も必要じゃないかと思う。そこで学校側にお願ひします。もつと臨床体験や経験する場を作つて欲しい。それば、学校外活動として、たとえば、運動トレーナーや、リハビリ(ストレッチ・運動法)、又は介護(患者さんの動かし方など) e t c : 等のサークルを
 - 3C 金山直美** 三月九日午前三時。あと十時間もすれば私達は卒業しています。三年間の学び、学びを生かし、はたして生かせるのか、恐くもありません。十時間後の私を、初同窓会での皆に出会えることを楽しみにしています。
 - 3C 田中薫** 色々な特徴を持った専門学校が存在する中、私達第45期は当校の課程を修了する事ができました。この事は、何にも代え難い人生の勳章に思え、この充実感を与えて下さった先生並びに関係者の方々に感謝の気持ちで一杯です。
 - 3D 植松太郎** 振り返る3年がとても早く感じられるのも、素晴らしい同級生、先輩、後輩、そして先生方との充実した日々があればこそ大変感謝しております。有難うございました。そして同窓会会員となるにあたり先輩方々の御指導の程宜しくお願い申し上げます。
 - 3D 前田孝男** 28年間のサラリーマン生活から一転50歳で入学しました。今までの人生では経験の出来なかつた勉強や健康の有難さを御指導下さつた先生方、同級生の皆さん本当に有難うございました。今後は指圧を世の中に拡める様に頑張つていきたいと思ひます。

平成十六年度

第四十八期入学式

桜の花も満開の四月四日(日)、茗荷谷の茗溪会館にて日本指圧専門学校、四十

八期生の入学式が開かれまし。当日は残念ながら小雨が降る天気でしたが、式

前から、やや緊張気味の新人生の熱気が会場に満ちていました。



石塚寛校長の式辞

林副校長先生の開式の辞の後、君が代斉唱に続き、新入生呼名では、一年生担任の神田先生、金子(智)先生の呼びかけの声に、新入生は大きな声で応えていました。校長式辞、理事長祝辞に続き、来賓の日本指圧協会の稲葉理事長先生、同窓会青木宏会長にも祝辞をいただきました。式は順調に進み、校歌斉唱を唄って、閉式となりました。式の後、クラスごとの記念撮影が行われ、四十八期の入学式は幕を閉じました。(黒沢)

新入生の抱負

一年B組 磯 知恵

私は日本指圧専門学校に入ったら、色々な事に挑戦していきたいと思っています。

その理由は、これまでの学校生活とは違って専門的な学業を学んだり、親しい友人と別れ、また新しい環境で友人を作ったり、など初めて体験する事が多くあると思うからです。

まだ知らない事が多くありますが、これから三年間私はこの学校で指圧を学び、指圧で人に喜びを与えられるように一日一日を大切に頑張っていきたいです。

一年C組 小関佳子

人生の再スタートとして指圧師を目指し、本校に入学できましたことを心より幸せと感じています。

現在、大病院の病棟に勤務していますが、日々、手術の後遺症であったり、以前からの持病の悪化であったりとした様々な原因から頸椎、腰椎の痛みや手、足の麻痺等を抱えている患者さん達を見るにつけ、その

痛みをほんの少しでも、一時であつたとしても、和らげることができする方法はないものかと考え、この道を選びました。

副作用なく、いつでも、どこでも、手軽に手をさしのべてあげられ、触れることで冷えた心と体を温めることができたなら、病棟に笑顔が増えることでしよう。

西洋医療の範囲内では、満足できない患者さんが多い現状を目の当たりにして、これから三年間、より多くの知識と技術を身につけ人の役に立てる私になれる様精一杯努力していきたいと思えます。

一年D組 高木光洋

「将来どんな仕事につきたいですか?」という質問に、私は幼い頃から「父と同じ仕事がしたい。」と、

決まってそう答えた。高校に入り、真剣に自分の進路を考えたと、やはり自分の目指すものは治療師だと思った。父の母校でもあるこの学校で、これからの三年間しっかりと学び、より多くの知識と技術を習得したいと思う。そして、患者さんから親しまれ、治療以外の事も話してもらえよう。信頼される治療師になり、身体だけでなく心も癒せたらと思う。たくさん人の役に立てるよう、努力したい。



新入生代表杉山珠男さんの宣誓

四十歳からの旅立ち

高橋 洋子 二十三期



小石川後樂園涵徳亭にて“満都子先生を囲んで”後列右から2番目が本人です。

学校を卒業して二十四年。初めから治療師になりたいなどと、大それたことを考えていたわけではなかった。生来体が弱かった私が、自分の体を元から治したいという気持ちと、経済的な基盤を持ちたいという思いが強くなっていった頃、「行くなら浪越の授業が一番充実しているよ」と、通っていた治療院の先生に薦められて日本指圧学校を選んだ。

おり、家で勉強する時間を持つことはとても難しかったので、帰りの電車の中でその日に学んだ中から重要だと思われる箇所を集中して復習することにした。入学してまもなく、二年先輩の開いていた研究会に誘って頂き、その後今日に至るまで二十年余りお世話になり続けた。おかげで、未熟で未だ治療の怖かった頃でも、「解らないことは次回で確認してから」と思い、治療過多だけは注意して、安心して治療活動を続けることができた。また、「治療師はまず自分が元気でなければいけない、治療の感覚を自分の体で覚えなさい」と、一人一人に治療の変化を体感させて下さった。自身が患者でもあった私にとっては、本当に有難い指導であったと思う。私もいつか先輩の様に後輩の役に立てたらと思う。

ある。肉体的にも精神的にも大変苦しく、何度も投げ出したい思いに駆られたが、それでも頑張り通すことが出来たのは、しっかりと成長してくれた子供達と、喜んでくださった患者さん達の笑顔のお陰であったと思う。そして、その体験は私の人生観を変える程の貴重な体験になり、その後の治療の上でも大いに役に立っている。なにより、家で人生を終わりたいという母の願いを叶えてくれたことは、今私にも満足感を与えてくれている。

常に学ぶ姿勢を

杉田 孝志 三十四期



開業して十年を経過しますが、今日まで来院者すべてが師であり、来院者から常に学ぶ姿勢で仕事に臨むように心掛けています。指圧学校で学んだ多くの教科(理論、実技)は大切な基本であり、日々の仕事の中で再確認し、正論として理論構築し、応病にあたることは言うまでもありません。

開業当初の二、三年は、医療器具の会社が主催するセミナーに月一回の割合で参加し、理論及び技術の修得に励みました。しかし、私自身の理解度の欠如により、なかなか会得できない状態でした。前回来院した人が、明日来院予定になつていようものなら、どう対処して良いものやら、即席に教科書や参考書を引っぱり出してみたり、寝れない夜や、ストレスの固

まりのようなことが多々あったことを思い出されま。一人の患者を追いかけけることにより、いろいろなことを教えてくれます。その人が順調に回復してゆけば、俗な言い方をすれば「見えなくなる」のです。又、同種の主訴の臨床数が多くなればなる程、よりその施術に確信が持て、ひいては自らの財産になってゆくわけです。その中でも同じ主訴でありながら、患者個々人の違いがあれば、そのことが又、学べることになるのです。よって来院者すべては私にとって師だと思つていきます。

ここ数年、感じることで、禁忌症や整形外科的分野で骨折等の骨格異常からくるものを除けば、全身各部位の痛みやその他の主訴は、指先で回復させることは、大いに可能と思われ。要は、回復させることができるか否かが勝負です。ところで、多くの来院者は元来健康であり、健康であるが故に動け、その結果、オーバーワークの状態に陥り、些細な動きが発症の動機となり、決定的に痛くなると思われます。時間をかけて痛みとして発展したわけですから、時計の針を戻すが如く、筋の弛緩に努めることにより、痛みが軽減するので。あと、平常心掛けていることは言動です。心ない言動は、時として「言葉の暴力」として作用します。人は五年、十年前に行った治療院での一言を、今でもはっきり覚えていっている。整形外科医がX線、MRI等の検査で、診断したのらその通りでしょうが、医師でもない者が、経験や想像の範囲で「骨がズレている」等、軽々に発言するのは、恐怖心を植えつけることにはなるのです。誠心誠意をもって仕事に臨めば、公明正大さに欠け、科学的根拠の不確かで、不用意な言葉は、出てこないと思えます。

指圧への思い

真船 智子 四十一期



卒業して四年。現在出張にて指圧の仕事をして頂き、週一回、衆議院の議員会館内の治療室に勤務しております。まだまだ未熟ゆえ恐縮ですが、指圧への思いを述べさせて頂きます。

指圧の素晴らしさを実感致しましたのは、以前、中垂炎を患った時でした。手術はせず無事退院したものの、微熱が続き、かすかに右下腹部に再び痛みを感じ始めた時、鈴木林三先生の治療を受ける機会を得ました。私としては血液検査の結果も良好ゆえの退院でしたので、快方に向かっていると信じた一心でしたが、それとは裏腹に、今にも再発寸前であることを治療が始まってすぐ気付かせて頂きました。炎症のある腹部では、指圧が診断即治療の真髓と言われる所以を体感

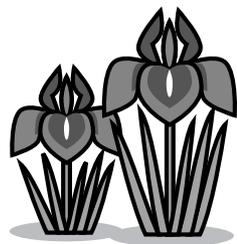
圧されることに炎症がぬけていくのを実感致しました。足の時は、電気が走るような衝撃を受け驚きました。

指圧される所すべての圧がジワッと深く浸透するさまを身を以て体験させて頂きました。治療後、右下腹部の痛みも消え、顔色も良くなり自分でも不思議なくらい元気になり帰宅致しました。その日を境に微熱もおさまり、以前の健康を取り戻し、その後再発もなく先生には今でも大へん感謝しております。

「ご縁あって鈴木先生には指圧のご指導を賜り、ひと押しの大切さ、奥深さを学ばせて頂いております。ひと押しが、ご指導後、より深い圧に変わることには本当に不思議です。指圧の奥深さをそこに感じます。

常常思うことがあります。まだ指圧師として経験の浅い私が、こうして働かせて頂けるのも、徳治郎先生をはじめ多くの先輩方が、社会に広く信用の種蒔きをして下さったおかげです。

「指圧」の言葉自体に、既に「信用」が備わっているかのように思えます。本当に有難



く思います。

ある本の一節を記します。
「道とはどういうことであるか。「反」本復「始」ということでもあります。絶えず先代のやった創業垂統の根本精神に返り、その始めに復つて絶えず新しく出直してゆくことです。作物が生長するのもそつである。伸びつばなし、徒長では駄目。必ず根に帰つて絶えず新しい創造が行われる」

組織がより大きく繁栄するのは、道に適つた時なのでしよう。個人もまた然り。自問自答して自分を見つめ、着実に道を歩んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、今日に至るまでたくさんの方のお導きを頂戴致しましたこと、深く感謝申し上げます。枚数に限りあり、お名前を挙げられず申し訳ありませんが、この場をお借りしてお礼申し上げます。

同窓会の皆様のご健康とますますのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

自分の指圧に自信を

三村 公明 四十一期



私は平成十二年卒四十一期生です。

今は我々の先輩である、静岡の川原先生の元で修業させて頂いております。

学校の卒業が決まった時に、「静岡に来ないか」と声をかけていただいたのですが、家も家族も神奈川にあつた為決心がつかず、地元のマツサージ店に一時就職しました。

その時、マツサージ店の主人に、「あなたは自分の指圧に自信をもっているのですか」と言われ、ハタと考へてしまいました。「自信」というものはそれまで考へた事も無く、ただ教えていただく事を吸収する事しか考へていなかったからです。

家に帰ってから女房に、

も一度プロとしての勉強がしたいと話したところ、川原先生の事を覚えてくれていて、「川原先生に相談してみたら」と一つ返事で賛成してくれました。その場で先生に電話したところ引き受けてください、その上、御自宅の傍の借家まで確保してくれた次第です。先生の元では一般診療と、保険診療を行っております。

一般診療では定期的に来られる方も多いですが、腰痛等では這つて来院される方もいて、一時は腰痛の施術が恐くなつたくらいです。最初の頃は施術しても改善されない事がたびたびあつて、そんな時は先生に助けられました。今でも施術後に不安がある時は先生に確認していただいております。

保険治療は技術向上の為にとも役に立ちます。保険で治療される方は、医師の同意書で施術内容が明確になつていて、一般治療とは異なり回数も多く施術する事が出来るので、新しい事をトライすれば効果を

を早くフィードバックしてもらうことができ、そこで何かつかめれば一般診療の方にも役立てられるからです。

最後に、指圧学校は毎年百二十名前後の方が卒業しているのに、指圧師会の集まり、同窓会総会の集まりにしても参加者が少なすぎると思ひます。少なくとも同窓総会には参加して旧交を深め、出来れば情報交換等してもらいたいと思ひます。

又、役員さん達へのお願いですが、私の所属している静岡県鍼灸師会では、鍼灸だけではなく、病院での最新医療等鍼灸の粋を越えて技術講演があります。もしイベントを組むのなら皆が勉強になる事をして欲しいと思ひます。



名物先生の近況

開かれた学園に

田村 鉦二



新年度を迎え学園も法人機構として旧組織から脱却し、真に学生のための学校に生まれ変わるうとしています。

本校は日本唯一の指圧専門学校として多数の有能な卒業生を輩出してまいりましたが、さらに時代に即応した優秀な人材を育成すべく努力している前向きな姿勢が実感されます。勿論、試行錯誤の連続ではあるとは思いますが学校を明るく、風通しのよい雰囲気とすべく、教職員、学生共に気兼ねなく、率直な意見を出し合い、お互いを認め合う姿勢が学校の発展につながればと願っております。私も理事の末席として学生の要望、教職員の声を正しく理事会に反映させる通風の役を果たすべく努力し

てゆくつもりです。

放課後も学生が図書室で勉強、研修し、卒業生も遠慮なく来校して懇談できる明るい、開かれた学校であることを心より望んでいきます。

さらに市民参加の特別講座なども企画、実行して頂きたいと思えます。私も第十期二部から本校に奉職しております。まだ現校舎の前身が建築中で、伝通院裏の印刷学校を間借りしての寺子屋式授業でしたが二部の授業が終わると、学生寮に徳治郎先生や寮生が待つていて、早速だるまストーブの上のヤカン酒で一杯と、何とものどかな時代でした。当時のアルパムを見ていると今昔の感があります。以来、非常勤ながら居心地の良さに、学校の幾多の変遷を見つめながら現在まで奉職し続けてきた次第です。

第一回の同窓会での私の講演は、上野タカラホテルでの「肝臓の病理」でした。会場では懐かしい多数の卒業生の方々にお逢い出来たことは望外の喜びでした。その後の同窓会総会にも出席し何度か講演もさせて頂

きました。あ、あの第一回の講演は忘れられない思い出です。年一度の同窓会総会では、卒業生の皆様も役員だけでなくクラス会の感覚で気軽に出席して下さいと思えます。そこでまた懐かしい出合いがあるでしょう。広い会場で卒業生も教職員OBも一緒に、堅苦しい講演の代わりに落語でも聞きながら会食・歓談出来たらと不真面目なことを考えたりしています。

現在の学校は皆様ご存じの石垣先生を相談役に迎え、石塚新校長のもと、新進鋭の専任教員が協力して新校長を盛り上げ、徐々にはありますが確実に前進しております。学校には同窓会会長青木先生が常勤し、指圧協会会長の稲場先生も実技指導にあたっておられます。実技非常勤の先生方は早めに登校し伝通院の徳治郎先生・徹先生の墓所、指塚に詣でてから授業に臨んでおられます。

同窓生の皆様、是非一度は伝通院界隈や、新風の吹く母校へお出掛け下さって学内の新しい風をご覧下さい。そしてまた同窓会では多数の卒業生の皆様と再会出来るのを楽しみにしております。

「私の近況はや三十年」

後藤 保正



昭和四十九年（一九七四年）の第十八期生が入学された年から私と日本指圧専門学校（当時は日本指圧学校）とのつきあいが始まりました。なんと三十年もの歳月が流れたことになる。二十代の紅顔の美少年が五十代半ばのおなががり出した中年まったただ中のおじさんになってしまった。私の二十代の頃しかご存じない方は当時より二十キロ太った私を町で見かけても、きつとおわかりにならないと思えます。この間、帝京大学医学部の解剖学教室から昭和六十一年（一九八一年）看護師、理学療法士、作業療法士、放射線技師を養成する三年制の「東京都立医療技術短期大学」の理学療法学科に助教として赴任し、一九九四年に教授。そ

して学校は平成十年（一九九八年）に「東京都立保健科学大学」という四年制の大学になり現在に至っています。

さらにまた、本学は来年度の学校の名称が変わります。新聞等でご存じの方もいらっしゃると思いますが都立の四大学（都立大、都立科学技術大、都立保健科学大学、都立短大）が一つの新しい大学になるのです。「首都大学東京」というのがそれです。全く耳慣れない独立行政法人の学校です。建物は平成十年に大学になるときに増築されましたが、昭和六十一年から同じ場所にあります（荒川区東尾久）。世の中の改革の波に本学も変わってゆくのでしょう。改悪にならないように、これからもあと数年に迫った定年まで頑張ってくださいと思っております。同窓会の皆様のますますのご健勝をお祈りしてペンを置きます。



45期の美女軍団に囲まれて

研究発表

指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果 (第三報)

日本指圧専門学校 学生

衛藤 友親 小泉 朋子 酒井 紀子
高橋 一浩 長谷川貴子 山口 和夫
大田 卓 岡野 昭 小峰 勇雄
小室 史郎 清水 元春 田附 正光
山田 喜信 若狭 光広 芦川 洋司
末岡 寛子 宮地 愛実

指導教員 黒沢 純一 石塚 寛
浪越満都子
大沢 秀雄 (筑波技術短期大学)
森 英俊 (筑波技術短期大学)

I、はじめに

指圧療法は臨床的に鎮痛や自律機能の調節など様々な効果があることが知られているが、その効果や作用機序については不明な点が多い。

そこで本校では生理機能に及ぼす指圧刺激の効果に関して検討を重ね、これまでの東洋療法学校協会学術大会において、指圧刺激により、心拍数および血圧は減少し、末梢の筋血液量は増大し、筋の柔軟性が改善することを報告してきた。

II、実験方法

一、対象

対象は健康成人四十名(男性二十二名、女性十八名)年齢十九歳〜六十二歳(平均三十七・四歳)であった。

なお、被検者には予め実験内容を十分に説明し、同意を得た上で行った。また、実験二時間前からの食事、喫煙、刺激物の摂取、激しい運動を避けさせた。加えて、実験当日に指圧等の刺激を受けることも避けさせた。

二、実験期間

二〇〇三年四月十九日〜七月十九日

三、実験場所

日本指圧専門学校指圧研究室で行った。室温は二十五±1.5で、部屋は薄暗くして静寂を保った。

四、測定項目

立位体前屈は立位体前屈測定器(ヤガミ社製)を用い、筋の柔軟性は筋硬度測定器(アクシム社製ビーナストロン)を用い、脊柱の可動性は脊柱測定器(インデックス社製スパイナルマウス)を用いて測定した。図1に装置及び測定風景を示す。

五、データの保存

筋硬度測定器からのデータは、コントロールユニットを経由してパーソナルコンピュータ(二六一一四五六、IBM)に転送、保存し、脊柱測定器からのデータは、ベースステーションを経由してパーソナルコンピュータ(二六五五P3J、IBM)に転送、保存した。

六、刺激方法(図2)

浪越式指圧は全身の施術が基本となっているが、測

定部位の関係上、伏臥位のみ指圧とし、刺激部位は以下の通りとした。

(1)左右肩甲下部五点(肩甲骨と脊柱の間、その中間部にあたる脊柱起立筋を脊柱に対し平行に施術)

(2)左右肩甲下部から腰部十点(肩甲間部五点目を一点目とし、脊柱起立筋を脊柱に沿って第五腰椎脇まで)一点庄三秒三セット、腰部十点目はさらに一点庄五秒を三回行った。

施術は計二名の施術担当者が、予め刺激量が同一となるよう調整した上で、原則として男性被検者には男性施術者が、女性被検者には女性施術者が施術した。

圧の強さは被検者が快圧と感じる約5kgから15kgで行った。

尚、施術は全て通常圧法(漸加、持続、漸減)で行った。

七、実験手順

被検者には、当日までに

喫煙の有無、日常的な自覚症状等をアンケート用紙に記入させた。実験前には当日の体調などについて問診を行った。

脊柱測定器で測定するためのマーキングを右脊柱起立筋のC₇とS₃の高さに施し、筋の柔軟性を測定するためのマーキングを左右の脊柱起立筋上しとのL₅間の高さに施した。

立位体前屈および脊柱可動域の測定は高さ四十五cmの台で行い、安静および筋の柔軟性の測定および施術は、畳の上に敷いた薄い布団の上で行った。

手順は以下の通りとした。

- (1)施術前立位体前屈および脊柱可動域測定
(2)安静五分(仰臥位)
(3)左施術前の筋の柔軟性測定
(4)左肩甲間部五点、肩甲下部から腰部十点を施術
(5)左施術後の筋の柔軟性測定
(6)右施術前の筋の柔軟性測定
(7)右肩甲間部五点、肩甲下部から腰部十点を施術

(8)右施術後の筋の柔軟性測定
(9)施術後立位体前屈および脊柱可動域測定

以上の実験終了後、施術の快・不快、自覚的な変化等について、再度問診を行った。尚、被検者四十名中十一名に対し、上記の手順で指圧刺激を加えない無刺激実験を行った。

八、データ処理

立位体前屈・筋の柔軟性・脊柱可動域それぞれについて施術前後の差をt検定を用いて統計学的に処理した。

尚、筋の柔軟性については、押し込み量を7mmから



図1 測定器と実験風景



指圧部位(左側)

指圧部位
 I. 肩甲間部5点
 II. 肩甲下部から腰部10点

指圧方法
 通常圧法1点圧3秒3セット
 腰部10点目はさらに1点圧5秒を3回
 以上を左右において施術する
 (受け手は伏臥位)

測定は左右各部位それぞれ
 施術前と施術後★の位置で行う

図2 刺激部位と筋の柔軟性測定ポイント

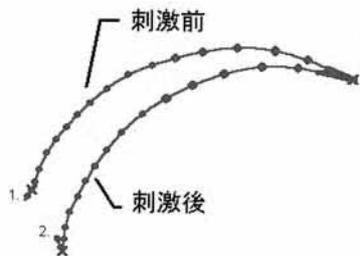


図3 脊柱測定器スパイナルマウス®の測定結果画面

測定器の誤作動によるデータを除いた九例中八例が悪化し、一例で改善がみられた。

(2) 無刺激群について
 三度で、有意差は認められなかった。

中十九例で改善がみられ、十八例で改善がみられなかった。前後差の平均は 0.50 ± 1.23 Hz/g で、

三、脊柱可動域(図7) 測定器の誤作動によるデータを除いた三十八例中十七例で改善がみられ、五例で変化が無く、十六例で改善がみられなかった。前後差の平均はマイナス 1.11 ± 2.23 Hz/g で、有意差は認められなかった。

Ⅲ、結果
 一、立位体前屈(図4)
 (1) 刺激群について
 四十例中三十例で改善がみられ、十例で改善がみ

二、筋の柔軟性(図5、図6)
 (1) 刺激群について
 測定器の誤作動によるデータを除いた左三十七例

右三十七例中二十二例で改善がみられ、十五例で改善がみられなかった。前後差の平均はマイナス 2.30 ± 2.58 Hz/g で、有意差は認められなかった。

八mmに変化させたときの、押し込み圧力の変化と周波数変化の割合(f/P [Hz/g]) を測定値として用いた。

十一例中七例が悪化し、四例で改善がみられた。前後差の平均は 0.21 ± 1.92 cm で、有意差は認められなかった。

右三十七例中二十二例で改善がみられ、十五例で改善がみられなかった。前後差の平均はマイナス 2.30 ± 2.58 Hz/g で、有意差は認められなかった。

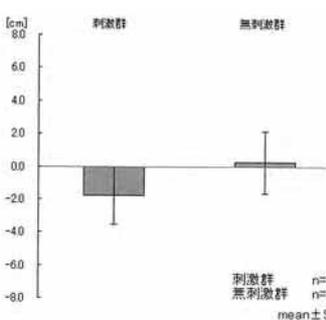


図4 立位体前屈に対する指圧刺激の効果

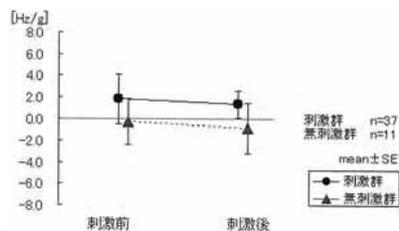


図5 筋の柔軟性に対する指圧刺激の効果(左)

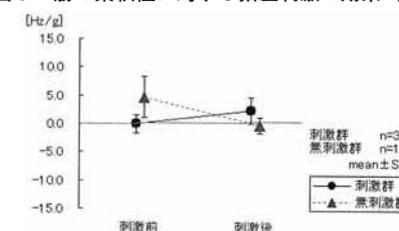


図6 筋の柔軟性に対する指圧刺激の効果(右)

今回の研究で、指圧刺激によって立位体前屈が有意差をもって改善した結果は、浅井らの研究と同等の結果

IV、考察
 今回の研究で、指圧刺激によって立位体前屈が有意差をもって改善した結果は、浅井らの研究と同等の結果

で、今後の検討課題と考えている。

前後差の平均は 2.40 ± 2.33 度で、有意差は認められなかった。

立位体前屈、筋の柔軟性、脊柱可動域について統計学的検定を行った結果、立位体前屈の前後差について有意差が認められた。そこで、立位体前屈が改善した三十例について、施術前後の各椎体間の可動域の差をみた

指圧刺激による筋の柔軟性の改善および関節可動域の改善は、軸索反射⁷⁾あるいは交感神経抑制による血流増大によって筋血液量が増大した結果(蒲原秀明他、²⁰⁰⁰)、筋の柔軟性の改善が生じたと考えられる。また、指圧刺激によって骨格筋支配の運動神経の活動が変化した可能性も考えら

椎体間の可動域の差をみたのは Th_{12} 間においてであった(平均 1.11 ± 1.76 度増加)。t検定の結果、有意差は認められなかった。($p < 0.01$)。

筋の柔軟性の変化に有意差を認められなかったのは、結果的に椎体間可動域の変化量が小さかった椎体間を測定ポイントとしてしまったこと。菅田らの研究では一点圧五秒で一分間刺激したのに対し、被検者の肢位および刺激部位の関係上、今回は一点圧三秒三回と刺激方法が違ふこと。

立位体前屈改善三十例において、 Th_{12} 間の変化が顕著であった理由は、脊柱起立筋の柔軟性が改善したこと他に、大腰筋の緊張による影響や、立位体前屈の姿勢そのものが Th_{12} 間に力学的に強い負担を強いっている可能性も棄却し切れないので、今後の検討課題と考えている。

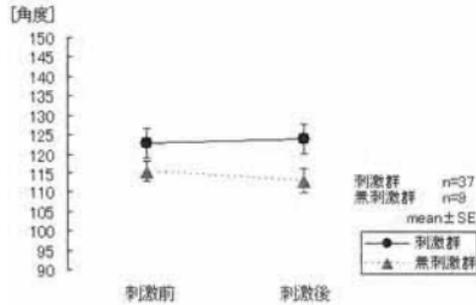


図7 脊柱可動域に対する指圧刺激の効果

れる。

今回得られた、指圧刺激によつて筋の柔軟性および脊柱における関節可動域の改善傾向が認められた結果は、腰背部痛などの筋緊張を伴う症状に有効であることを示す成績であると考え

V、結語

健康成人を対象として指圧刺激（肩甲間部、肩甲下部から腰部）による筋の柔軟性に対する効果について検討し、以下の結果を得た。

指圧刺激により、立位体前屈を指標とする脊柱の可動性は有意に改善し、特にTh₁₂間での可動域の増大が顕著であった。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本校学生および教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

参考文献

- (1) 小谷田作男他…指圧刺激による心循環系に及ぼす効果について、東洋療法学校協会学会誌二十二号・四十 四十五、一九七八
- (2) 井手ゆかり他…血圧に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌二十三号・七十七 八十二、一九九九
- (3) 蒲原秀明他…末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌二十四号・五十一 五十六、二〇〇〇
- (4) 浅井宗一他…指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果、東洋療法学校協会学会誌二十五号・一二五 一二九、二〇〇一
- (5) 菅田直記他…指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果（第二報）、東洋療法学校協会学会誌二十六号・三十五 三十九、二〇〇二
- (6) 浪越 徹…完全図解指圧療法普及版、日貿出版社、東京、一九九二
- (7) Sato A, Sato Y, Schmidt RF: The impact of somatosensory input on autonomic functions. *Reviews of Physiology Biochemistry and Pharmacology*, 130: 1-328, 1997

寄付金賛助者ご芳名

同窓会会員の皆様から

寄付金を頂戴いたしました。

平成十五年度 四〇八件

一、一五八、二四九円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。 数字卒業期 (敬称略、順不同)

☆参万円

⑪藤本茂勝

☆貳万円

⑩井上征夫

☆壹万八千円

⑨島田武一郎

☆壹万五千円

⑧宮田經子

☆壹万円

⑦神田勇

⑥川上よし

⑤川口義宏

④烟中糸美

③樋口正汎

②市平江貴仁

☆八千円

①和田常男

①山岡祥宏

①角正安

①天野芳子

①小林一彦

①田澤千代子

①高坂貞造

①石原博司

①西島操

①日野紘造

①田ゆき

①西千鶴子

①鈴木健一

①伊藤美智子

①藤尾益夫

①加園政夫

①小倉秀雄

①岡野栄輔

①正会員・松本一雄

①大井政代

①皿井千代子

①夜子

①岸とき

①鈴木ふみ子

①尾上美夫

①内城勇造

①松永哲夫

①大村真人

①丸山眞一

①田タカ子

①鎮目征幸

①山田きん

①佐藤一雄

①小林義孝

①小松崎義雄

①友枝

①毛子

①邦広

①一

①江戸妙子

①子

①照子

①木さ

①田主

①井勝雄

①学院

①田久

①川清

①野文

①三

①坂八

①三

①郎

①三

①瓶

①三

①郎

①三

①郎

①幸

①川

①原

①清

①乃

①村

①由

①子

①仲

①欣

①秀

①樹

①阿

①部

①は

①ら

①の

①み

①の

平成16年度 日本指圧専門学校同窓会 通常総会・懇親会

平成16年度日本指圧専門学校同窓会通常総会、記念講演、懇親会を開催いたします。御出席くださいますようご案内申し上げます。

日本指圧専門学校同窓会会長 青木 宏

記

一、と き：平成16年6月13日（日）10時

二、と ころ：茗溪会館2階

文京区大塚1-5-23 電話03-3943-0321

交 通：

地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 2分

JR池袋駅より車 5分

* 同封の出欠ハガキは

5月31日（月）必着

三、内 容：総会（10：00～10：50）

活動報告、会計報告、監査報告、活動計画、予算案

記念講演（11：00～12：00）

講 師 川原 善次郎 27期

「自立できる指圧師」

懇親会（12：10～14：30）

四、会 費：8000円（当日納金も可）

五、申 込：同封の郵便為替用紙で会費を前納していただきますと、受付事務の混乱が防げますので御協力をお願いいたします。

日本指圧専門学校同窓会

自 平成15年4月1日

至 平成16年3月31日

決算書・予算案

<一般会計>

	収 入 の 部		
	15年度予算	15年度決算	16年度予算案
前年度より繰越	1,055,909	1,055,909	1,351,643
入 会 金	1,920,000	1,920,000	1,920,000
運 営 費	1,500,000	1,478,000	1,500,000
総会懇親会会費	1,500,000	1,060,000	1,500,000
芸能大会会費	250,000	177,600	250,000
預 金 利 息	500	220	500
そ の 他 収 入	0	27,084	0
記念事業引当金戻入	0	0	720,000
収 入 合 計	6,226,409	5,718,813	7,242,143
	支 出 の 部		
	15年度予算	15年度決算	16年度予算案
総 会 費	1,700,000	1,399,752	1,850,000
芸 能 大 会 費	300,000	234,647	300,000
会 報 発 行 費	1,000,000	1,101,157	1,250,000
通 信 費	200,000	200,450	250,000
印 刷 費	100,000	72,807	100,000
渉 外 費	200,000	156,000	200,000
交 通 費	300,000	212,750	300,000
慶 弔 見 舞 金	100,000	40,750	100,000
事 務 用 品 費	30,000	12,162	30,000
雑 費	20,000	39,575	50,000
名 簿 入 力 費	100,000	50,000	100,000
役 員 会 議 費	20,000	11,120	20,000
備 品 費	30,000	0	30,000
設 備 使 用 料	50,000	36,000	50,000
予 備 費	30,000	0	30,000
記念事業引当金繰入	800,000	800,000	800,000
名 簿 発 行 費	0	0	720,000
支 出 合 計	4,980,000	4,367,170	6,180,000
次 年 度 繰 越	1,246,409	1,351,643	1,062,143

貸借対照表

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
現 金	298,977	新 規 事 業 引 受 金	800,000
東 京 三 菱 普 通 口	2,073,384	前 受 金	248,000
郵 便 貯 金 口	8,826,071	余 剰 金	10,177,516
郵 便 後 納 担 保 金	27,084	(当 期 余 剰 金)	(1,453,983)
合 計	11,225,516	合 計	11,225,516

損益計算書

収 入 の 部		
	15年度実績	内 訳
入 会 金	1,920,000	47期 15,000円×128名分
運 営 費	1,478,000	2,000円×739名
寄 付 金	1,158,249	406名分
預 金 利 息	220	預貯金利子
そ の 他 収 入	27,084	後納担保金戻入
収 入 の 部 合 計	4,583,553	
支 出 の 部		
	15年度実績	内 訳
総 会 懇 親 会 費	339,752	会費収入94名 940,000 御祝儀 120,000 = 1,060,000 支払 椿山荘 1,243,050 講師謝礼 100,000 他
芸 能 大 会	57,047	会費収入43名 127,000 御祝儀 30,000 = 157,000 茗溪会館 208,844 他
会 報 発 行 費	1,101,157	会報24号（株）旭出版 他
通 信 費	200,450	小石川郵便局 他 郵送料、ハガキ代
印 刷 費	72,807	一山堂、封筒、降込票
渉 外 費	156,000	指圧協会、母校、祝い金等
交 通 費	212,750	第1回、第2回運営委員会交通費 他
慶 弔 見 舞 金	40,750	指聖供養塔生花 浪越茂氏香典、生花代
事 務 用 品 費	12,162	今井文具店 ファイル他事務用品
雑 費	39,575	貸金庫料 委員会お茶代
名 簿 入 力 費	50,000	名簿修正費手数料
役 員 会 議 費	11,120	中板会館 茗溪会館
設 備 使 用 料	36,000	母校
記念事業引当金繰入	800,000	
支 出 の 部 合 計	3,129,570	

<特別会計>

科 目	収入	支出	残高
期首現金残高	7,667,624		
寄 付 金	1,158,249		
一 般 会 計 へ			
郵 便 手 数 料			
合 計	8,825,873		8,825,873

平成16年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 青 木 宏 印
 会 計 委 員 伊 藤 美 智 子 印
 山 田 紀 美 子 印
 監 査 中 村 フ ミ 子 印
 田 澤 千 代 子 印